

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年1月29日

【評価実施概要】

事業所番号	1170600520
法人名	株式会社 ウイズネット
事業所名	グループホームみんなの家春日部花積
所在地	344-0044 埼玉県春日部市花積108-5 (電話) 048-753-3091

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年1月15日

【情報提供票より】(平成19年12月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 2 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 8人, 非常勤 8人, 常勤換算	13.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 2階建ての 1階 ~ 2階部分
------	-------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	15,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(120,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	350 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,250円			

(4) 利用者の概要(12月28日現在)

利用者人数	16 名	男性	3 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	67 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ういずクリニック 高木歯科クリニック 岩槻中央病院 春日部厚生病院 順生会病院 梅原病
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは東武線東岩槻駅から徒歩約8分の小高い住宅地にあり、同一敷地内にデイサービス事業所がある。近くに教会があり、ホームとは宗教に関係なく交流が続いている。医療連携体制が採られており、近隣の複数医療機関との連携と共に、ウイズネットの看護師と契約しており、定期的来訪により利用者の健康や疾病の管理が充実されている。また、「重度化した場合の対応に係る指針」が定められ、看取りに関する考え方を入居時の重要事項説明書に取り入れ、説明をしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で要改善とされたケアプランへの職員全体での取り組みについては、職員の参加が強化されている。また、市担当課を始めとする地域交流については、市の事情もあり、十分な取り組みには至っていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員会議に諮って職員全員で自己評価を行っている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、近くの教会の方や地主、利用者の家族全員に参加の呼びかけをし、ホーム事業の報告や地域との交流について話し合った。運営推進会議を通じて、地域や教会の行事に参加したり、ホーム行事に参加の呼びかけをしたりして交流を深めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>出納の記録と共に個別に健康状態や暮らしぶりを毎月報告している。家族来訪時には管理者、職員が話を聴き、必要により職員会議等で報告や検討をしている。なお、運営推進会議には家族全員に参加を呼びかけており、会議で出た意見は、職員会議等で報告検討し、サービスの質の向上や運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホーム近くの教会とは宗教を抜きにして交流を深め、相互の行事に行き来している。地域や学校との交流があり、ボランティアの受け入れもしている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしい生活が送れるように事業所としての理念を職員会議等で作成し、スタッフルームに掲げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	フロア会議等を通じて職員間で理念を共有し、理念の実現に向けて日々努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	教会が近くにあり、日常的なお付き合いをしている。他に学校や自治会とも行事を通じて交流がある。ホームにはボランティアも訪れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は職員会議で取り組んでいる。前回外部評価の改善点については、一年の半期ごとに取り組む目標を設定し、職員全体で取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、家族全員に通知を出しできるだけ沢山の意見を出して頂くことや、地主や近くの教会などにも参加を呼びかけ、参加者の拡大を図るよう努力している。運営推進会議の結果は職員会議等で話し合い、意見等を具体化するように努力している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター主催の会議に参加して交流を図り、ホームのサービスの質の向上に取り組んでいる。	○	ホームとしては市の担当課に運営推進会議への参加を呼掛けてきたが、現在まで参加は無い。次回から参加予定とのことなので、これを機に関係作りを進める事を期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回の出納の記録送付時に、個人の健康状態や暮らしぶりを家族に伝えている。家族来訪時には、当日の職員、フロア長が対応して利用者の暮らしぶりを伝えている。職員の異動については報告していない。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族全員に運営推進会議への出席を呼びかけ、家族からの意見は職員会議で話し合い、改善に取り組んでいる。また、入居時の重要事項説明時に事業所内、本社、公的機関の苦情相談窓口への連絡方法を説明している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者の異動はエリア内を中心として必要最小限に配慮している。スタッフからそのまま同じホームの管理者になることもある。非常勤職員は地域に馴染のあるホーム近隣居住者から採用するなどしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経営母体が発する各種研修に参加できる機会を作っている。また、日常業務の中での疑問は、管理者と共に解決してゆくようにトレーニングしている。管理者は、職員が認知症の方への介護対応困難場面に出会った場合に、そのつど職員と共に向かいあい解決し学びの機会にしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のケアマネジャーの会に参加し、情報交換等、交流や研修をしているほか、連携病院の医師との研修や交流をしている。会社の他施設との交流もしており、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族がホームを見学したうえで申込みを受けている。また、事前に利用希望者の自宅を訪問し、生活歴や本人と家族の希望を汲み取った上で入居されるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の生活経験から学び、共に過ごす中で、互いに支えあう関係を築いている。管理者は、職員が利用者支えあう関係作りを意識して向き合えるようにサポートしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員会議時に、日々の「生活記録」や、暮らしの中で職員が把握した利用者や家族の希望なども反映させ検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居予定者と家族のホーム見学や、自宅への訪問調査により生活状況や意向を聞き取ってアセスメントを行い、介護計画を立案している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは、フロア会議や職員会議で出された意見と、本人や家族の意見に沿って検討している。見直しは利用者の状況により随時行っているが、変化の見られない人についても、利用者の介護計画の達成度をスタッフ会議で検討し、定期的に見直している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	職員はいつでも利用者の要望 に応じられるよう心がけてい る。外出支援は、近距離では 買い物等の実施ができるが、 外泊支援は実施していない。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けら れるように支援している	ホームの連携医や利用者のか かりつけ医と協力、連携しな がら適切な医療が受けられる よう支援している。また、年 1回検診車が来るので、全員 の健康状態の把握もできてい る。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針 の共有 重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等なら びにかかりつけ医等と繰り返 し話し合い、全員で方針を共 有している	当ホームでの事例は今のところ 無いが、「重度化した場合に 係る指針」が作成しており、 職員全員で内容を検討してい る。ホーム長が同一法人の他 のホームの事例を勉強してい る。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシー を損ねるような言葉かけや 対応、記録等の個人情報の取 り扱いをしていない	職員の利用者への言葉遣いや 対応は丁寧であり、気遣いさ れている様子が伺える。1時 間毎の生活記録を取るため、 共用空間で記録している場面 も見受けられるが、書類の 保管場所を決めてあり、個 人情報の取り扱いには留意 している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先 するのではなく、一人ひとり のペースを大切に、その日を どのように過ごしたいか、希 望にそって支援している	利用者の希望を尊重し、一人 ひとりのペースに合わせて、 できるだけ時間で日課を区切 らないように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	デイサービスで調理された食事を提供している。盛り付けは職員が行い、後片付けは利用者が手伝っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	昼間の時間帯で利用者の希望にできるだけ合わせた時間で入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	居室のモップ掃除、食器の後片付け、洗濯物たたみなどの簡単な家事については希望される方には役割を担っていただいている。書道や塗り絵など利用者の作品が居室や廊下に展示されており、趣味の活動も楽しめる方が多いことが伺える。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の一人ひとりの希望により、散歩や買い物に職員と一緒に出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関はオートロックになっているが、1階、2階共に時間を決めて開放し、鍵を掛けない支援に取り組んでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練をデイサービス棟と一緒に実施している。		避難訓練は実施できているので、これからは地域住民の協力の下に災害時や非常時を想定した訓練ができるよう期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が作成している。摂取量や形態(きざみやペーストなど)、水分の摂取量は、個々の利用者合った量が摂取できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間の調度品は落ち着いて明るいものが選ばれている。職員の話し声は落ち着いており、行事の写真や書道の作品なども落ち着いた雰囲気での展示がしてある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が入居時に持参した家具が置いてある居室や、家族の写真やご本人の作品を部屋に飾っている部屋もあり、それぞれ個性のある居心地の良い部屋作りが工夫されている。		